

○イタリア人の会議の方法

・フェラーリに限らず、会議においてイタリア人は最初からみんなで怒鳴りあう。そのまま延々とわめいて、コーヒーの時間がくると「お、コーヒー飲みに行こう」。それまで怒鳴りあっていた人たちが、すっと収まって仲良く出かけていく。コーヒーを飲んでいる最中も「夏休み、どこに行くの」などと穏やかな会話だ。ところが、休憩時間が終わると、また怒鳴り合い。

・しかし、イタリア人は「これ以上言うてはいけない」というレベルをよくわきまえていて、怒鳴り合いでも必ずそれ以下でわめいているのだ。その水準線ぎりぎりまで登って行くのはすごく速いが、それ以降は自分の気持ちをうまくコントロールして、決して一線を超えないようにしている。しかも、「俺はこんなに怒っているけれど、これより上には行かないコントロール力を持っているんだぞ」ということを、相手に対してアピールし、それがまた威嚇になっている。相手も「俺だって怒っているように見えるかもしれないけど、本当は怒っていないんだ。だからギリギリのところまでこんなことが言えるんだぞ」と対応してくる。その駆け引きを怒鳴り合いながらやるのだ。

・日本人の場合、ふだんは黙って人の話を聞いているのに、不満が溜まってある線を越えてしまうとドカンと爆発する。それで、つい言うてはいけないことを口に出してしまい、全員から総攻撃をくらってしまう。結局、反省して「ごめんなさい」と謝って、その後はしょんぼりするパターンだ。

・さっさとヒートアップできるだけでなく、会議終わったら怒鳴り合いの相手と休憩時間に仲良くコーヒーを飲むことができるくらい高まったテンションをサッと下げることができるイタリア人のお国柄は、先のような失敗を防ぎたい日本人にとってプラスになるだろう。